

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公表番号】特表2006-515227(P2006-515227A)

【公表日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2006-020

【出願番号】特願2004-568846(P2004-568846)

【国際特許分類】

<i>B 01 D</i>	61/14	(2006.01)
<i>C 07 K</i>	1/34	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	71/02	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	71/10	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	65/02	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	65/06	(2006.01)
<i>B 01 D</i>	61/58	(2006.01)

【F I】

<i>B 01 D</i>	61/14	5 0 0
<i>C 07 K</i>	1/34	
<i>B 01 D</i>	71/02	
<i>B 01 D</i>	71/10	
<i>B 01 D</i>	65/02	5 0 0
<i>B 01 D</i>	65/06	
<i>B 01 D</i>	61/58	

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月7日(2006.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の分子種をフィードストリームから分離する方法において、

(a)流動対T M P曲線の圧力依存性領域において転移点流動の約5から100%までの範囲のレベルで流動を維持しながら、前記フィードストリームから前記所定の分子種を分離する孔のサイズを有する濾過膜を通す十字流濾過法により前記フィードストリームを濾過する工程であって、前記濾過の転移点における膜圧以下のレベルで膜圧を前記膜に沿って実質的に一定に維持し、これによって、前記所定の分子種がその生物学的活性を保持するよう前記所定の分子種を前記フィードストリームから選択的に分離する工程、

(b)精密濾過法により前記フィードストリームを濾過する工程、を有してなり、前記所定の分子種がタンパク質であることを特徴とする方法。